



学校情報化優良校認定を受けて ～ 講師を招いての研修 ～

「学校情報化優良校認定」を受けたことは以前お知らせしましたが、11月24日(水)に、県教育委員会教育政策課から指導主事をお招きして、学習指導におけるICT活用事例を中心に、研修をしていただきました。授業や授業外でのICTの活用について様々な示唆をいただいたのですが、「ICT活用は、今後の子供たちに必要なこと」という言葉にはっとさせられました。従来の考え方にとらわれず、いろいろな使い方を試してみることが指導する私たちにとって重要な、と改めて感じました。教科指導に係るICTの進歩は加速する一方です。子供も指導者も、「とにかく使ってみること」が大切だと強調されていました。アナログな私も挑戦が必要だと強く感じた1時間でした。



前途洋々

「第2回みなみっ子集会」の様子から

11月25日(木)の3、4時間目、本年度2回目の「みなみっ子集会」を開催しました。今回のテーマは「思いを言えないでいるのはなぜなのか。どうしたら言えるのか。自分の経験をもとに考え、伝え合おう」です。今回の人権月間では、「①きめつけや仲間外しをしていないか気づくこと」「②勇気を出して思いを伝えること」を中心に取組を進めてきました。やはり、人間関係の中で、本当は嫌なのに、本当はおかしいと思っているのに、それを伝えられない子供たちも少なくありません。また、自分の言動を客観的に見つめることができていない場合もあります。集会の中で子供たちは、事前に準備した意見を多く発表してくれましたし、真剣な態度で参加してくれました。最後に確認したことは、「相談にのってあげられる仲間、一緒に行動できる仲間」になろうということでした。伝え足りないこともあったかもしれませんが、今後の生活の中で、お互いの「あんしん、じしん、じゆう」を大切にしていっていただければと思います。



ハッピータイム(アイスブレイク)



進行してくれた人権委員会



発表する子供たち

11月の「ふるさとくまさんデー」は八代から!

22日(月)は、11月の「ふるさとくまさんデー」でした。今回のメニューは、八代地区の特産品を使ったもので、「しょうがごはん、牛乳、トマト団子汁、ちくわサラダ」でした。八代の中山間地では、しょうがの栽培が盛んで、特に東陽町は産地として有名です。実は、熊本県のしょうが生産量は高知県について国内2位なのだそうです。しょうがごはんは、ピリッとした味がやみつきになりそうで、たいへんおいしかったです。また、トマト団子汁は、団子にトマトピューレが練り込んであり、「赤い」団子になっていました。汁にはほどよいトマトの酸味があり、彩りの美しい一品になっていました。八代地方は県内一の冬トマトの産地ですが、生産者の方々は、安全・安心・新鮮なトマトを食べてほしいと、黄色蛍光灯・防虫網・防虫テープで害虫の被害を防ぎ、農薬をあまり使わずに栽培しておられるそうです。今月もおいしくいただきました。ごちそうさまでした!

